

地域交流型サロン(ふれあいサロン)助成金



9

さなぎ

サロン運営団体 さなぎ 学校が苦しい子と親の会@ひたちなか



9

ひたちなか市



開催日及び開催頻度

月1回 ※1回2時間(曜日は土日祝日のいずれか・時間は開催月による)

開催拠点

ふぁみりこらぼ
きつずセンター学童クラブ

代表者氏名

小川 久美子

1回の参加人数

6名程度

参加費 (1人1回あたり)

親の会は無料、
子連れ親の会100円

広報方法

チラシ、Facebook、LINE(随時)

開催地域の様子



- 学校以外に行ける場所が限られている。学校に行けなくなり数少ないその居場所にも合わない子は家にいるしかなく、その状態が長引くほど増々外に出られなくなっています。



サロンに取り組む動機・サロンの将来像



- 不登校の子や親の不安を和らげたい、孤立しないようにしたいです。
- 交流によって束の間でもひとりではないと実感してほしいです。
- 親の居場所だけでなく子どもにとっての居場所にもなるよう充実していきたいです。
- 家から出られない方のためにオンラインでもよりコミュニケーションが取りやすいよう充実させたいです。



サロン運営上の協力者



- ひたちなか市社会福祉協議会
- かさま不登校ネットワーク、不登校を理解する会等、他の親の会主催者 など

運営費の確保方法



- ひたちなか市社会福祉協議会のふれあい福祉活動費補助
- 参加者からの参加費(本年度は無料)

サロンのウリ



- オンラインも利用したハイブリット開催ができます。
- 参加者に寄り添えるよう柔軟な対応を心掛けています。

連携先・協働先



- ひたちなか市社会福祉協議会
 - ひたちなか市の福祉課
 - 不登校・多様な学びネットワーク茨城
- 活動の相談や、子どもたちへのお菓子の寄付をいただいたり、補助金の紹介をしていただいています。



コロナ禍でのサロン活動について



- その時の状況に応じて、会場・オンラインのみ、ハイブリットと開催方法3つの中からより良いものを選んでいきます。

助成金の活用によりパワーアップした活動

- ◆サロン活動で使える豆知識
- ◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- 対面でもオンラインでも活動を通してつながりが持てることで、自分一人ではないと、分かり前向きな気持ちになれます。
- 同じ立場だからこそできる「気持ちの共有」を大切にしながら活動しています。

